

**R1.12.4(Tue)5、6校時 南小倉中学校 1年3組、3年1組**

3実践目となる今回は、スポーツ庁から教科調査官2名、市教委から3名をお迎えし、また、市内小・中・特支学校40名超の参観者での発表会となりました。教師も生徒も緊張感漂う雰囲気の中、お互いの精一杯が発揮され、勢いのある授業となりました。授業後の協議会では、授業準備の周到さと子どもたちの言動に話題が集中し、教科調査官からは、「教師が深い学びをイメージして授業に臨むことが大切」との示唆がありました。渡邊先生、藤堂先生、大変ご苦労様でした。

**1 保健分野（欲求やストレスへの対処）1年3組実践**

保健室利用理由を小・中学校で比較して、思春期特有の欲求不満やストレスについて理解すること、自分なりの対処法について知識を活用し、話し合い活動を通して考えるという授業構成でした。養護教諭の田中先生にも、T2として資料提供や保健室付近に思春期の悩みに関連したものを掲示するなど応援していただきました。

**2 体育分野（ハンドボール）3年1組実践**

3年生の攻守混合のゴール型（ハンドボール）の実践でした。掲示物や音楽で会場の雰囲気を作り、タブレット、作戦ボードの思考ツールを活用すること、作戦確認タイムに着目して、子どもたちがゲーム中にお互いをコーチングし、肯定的な助言を引き出すこと、また、男女特有のゲームの様相を個々の場面、チームとしての戦術両面から「わかって、できる」ことを目指しました。一連の活動を通して、見方・考え方をバランスよく育むことが今後の授業の方向性であると確認できました。

**3 授業後の協議会**

保健分野担当の横嶋調査官からは、ホワイトボードを使って個人の様々な欲求不満やストレスへの対処法が構造的に出せていた。人によって対処法はいろいろあるということが、今日の授業における深い学びで、今後の汎用性につながるものである。

体育分野担当の関調査官からは、子どもの動きをVTRで見たことが自分事としてとらえるのに有効であると感じた。難しく考えずに、「南中でできることは他校でもできる」という実践を積み重ねてほしい。など指導・助言をしていただきました。

